

EW90

- ※上記作業が完了しましたら、この取付説明書は必ずお客様にお渡し下さい。

クックフード取付説明書（安全編）

安全上のご注意 必ずお守りください

- この説明書は安全上、特に注意していただきたい内容についてとりあげたものです。この[安全上のご注意]をよくお読みのうえ製品を取り付けてください。
- 具体的な取付方法については、取付説明書（施工編）をご覧ください。

- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付けて、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをする
と生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容
ですので、必ず守ってください。

- 警告**：人が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容。
- 注意**：人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

- このような絵表示は、してはいけない【禁止】内容です。
- 図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
- この絵表示は、必ず実行していただく【強制】内容です。
- 図の中や近傍に具体的な指示内容が描かれています。

絵表示の例		左図の場合は、“分解禁止”が描かれています。
		左図の場合は、“電源プラグをコンセントから抜いてください”が描かれています。

警告

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に本体、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取り付けること。
漏電した場合、発火したり感電することがあります。
- 効率よく排気させるには、空気を取り入れ口（給気口）を設けること。とくに密閉された厨房には、 $\phi 150\text{mm}$ 以上の給気口を用意してください。（寒冷地では、電動シャッター付給気扇をご使用ください。）
- 修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造は行わないこと。発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。

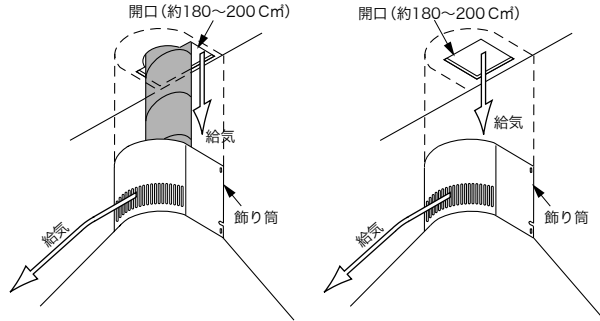
注意

- 本体の取り付け及び、部品の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実にこなうこと。落下によりけがをすることがあります。
- 交流100V以外では使用しないこと。
火災や感電の原因となります。
- 運転中は、羽根の中に指や物を絶対に入れないこと。けがをすることがあります。
- 電気工事は必ず電気工事に依頼すること。電気設備技術基準や内線規定に従って安全確実に行なうこと。
誤った電気工事は感電や火災の恐れがあります。

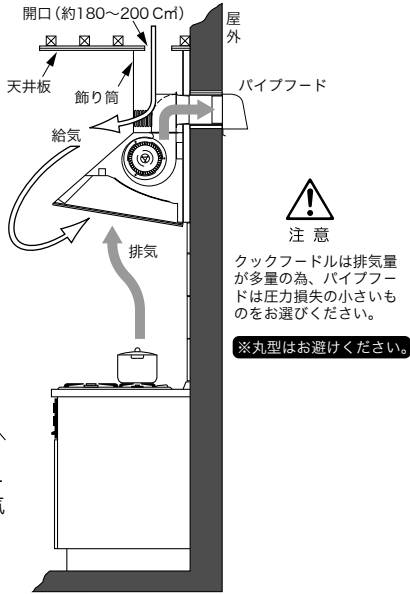
効率よく換気させるためには給気を十分に！

在来構造等の場合

- 飾り筒内の天井板を開く事により、そこから天井裏の空気（自然の風）を取り入れ、レンジフードの下部飾り筒のスリットから室内に風（給気）を通すと効率よく換気できます。



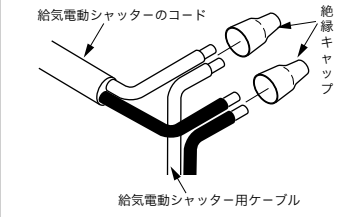
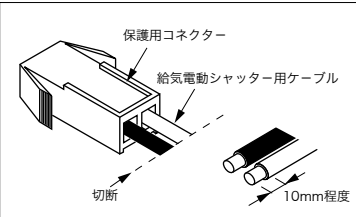
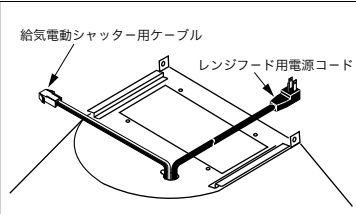
- RC、ツーバイ構造等（高気密住宅）には、給気電動シャッターでの給気設備をお勧めします。その場合は、レンジフードの給気電動シャッター用ケーブルに接続してください。（接続方法は、下記をご覧ください。）
※給気電動シャッター用ケーブルは全機種に装備されています。



注意
クックフードは排気量が
多量の為、パイプフー
ドは圧力損失の小さいも
のをお選びください。

※丸型は避けください。

給気電動シャッター用ケーブルの接続（他社製品の場合）



※排気用ファン（レンジフード）と給気電動シャッターを連動させるには、給気電動シャッター側のコードと、給気電動シャッター用ケーブルを接続してください。（接続方法は、下記要領で行なってください。）

- 給気電動シャッターのコードと給気電動シャッター用ケーブルの接続
(1) 給気電動シャッター用ケーブルの保護用コネクタ側のケーブルを、ニッパ、ペンチ等で切断し、ケーブルの被覆をめくりま。この時、ケーブルの被覆をめくる長さは、10mm程度にします。

注：給気電動シャッターのコード及び、給気電動シャッター用ケーブルの被覆をめくる長さは、絶縁キャップよりはみ出ない様にしてください。

- 試運転
※レンジフードの電源コードを仮設コンセントに差し込んで試運転を行い、下記の内容を確認ください。
(1) レンジフードスイッチの ON/OFFボタンを押して、レンジフードファン（排気ファン）と給気電動シャッターが連動して作動するか確認してください。

- レンジフードスイッチ（I、II、TOP）のどの位置でも、給気電動シャッターは作動します。又、給気電動シャッターは3A以内のものをご使用ください。
- 給気電動シャッター用ケーブルは、入力用電源コードではありませんので、給気電動シャッター以外には、ご使用にならないください。負荷がかかり過ぎるとスイッチ本体が故障する危険があります。

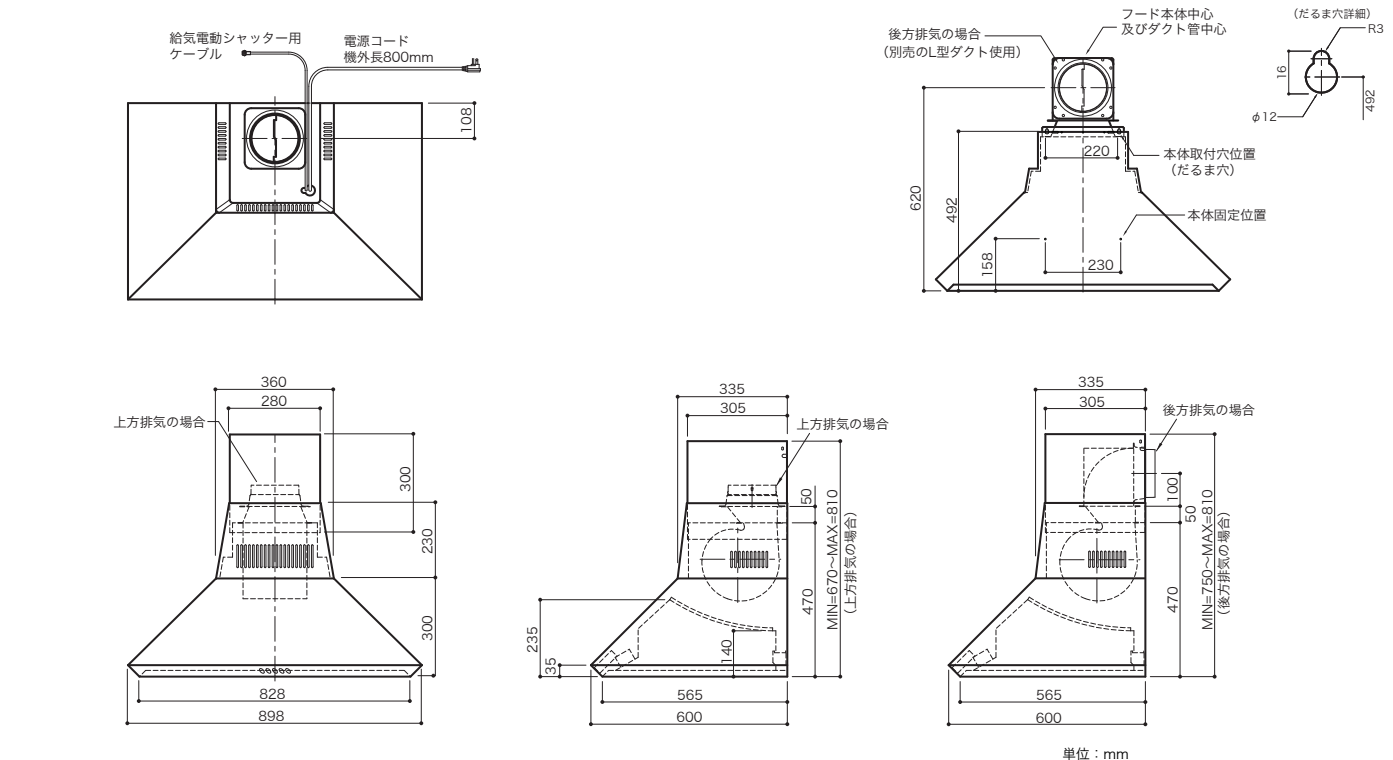
※弊社製品の場合は「給気電動シャッター」取付説明書の取付方法を参考に接続してください。

取付け時のご注意

※排気工事をされる場合、建築基準法（同施工法）および消防法等の関連法規に合わせて施行ください。

- レンジフードの取り付けは、建物の金属部（壁内ラス網等）と接触しないように、十分注意して工事してください。なお、本体の埋込みは、絶対にやめてください。壁内のラス網に漏洩電流がある場合、本体に流れてきます。
 - 取り付け高さは、ガスレンジの真上80Cm以上になるようにしてください。低すぎると、お台所仕事のさまたげになったり、高熱による故障の原因にもなります。
 - レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。また横方向は50Cm以上離してください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因となります。
 - ガスレンジ幅はレンジフードファンの幅以内のものをご使用ください。
 - 非常に長いダクトあるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいじめるしく低下させたり、騒音が大きくなりますのでご注意ください。
 - レンジフードの重量は約30Kgです。取り付け前に取付部の強度をよく確かめてください。取付部の強度が弱いと落下したり、振動の原因となりますので、補強工事をしたのちに製品を取り付けてください。
 - 室温が40℃以上になる場所、薬品を使う場所には取り付けないでください。絶縁が悪くなり、感電する恐れがあります。またスイッチ部分やモーターなどがいたんだりすることがあります。
 - スイッチの改造等仕様を変更してのご使用はさけてください。
 - 効率よく換気させるため、排気用ダクトの大きさ以上の空気取り入れ口を部屋の反対の位置に設けてください。とくに、寒冷地などの気密性の高い部屋で、自然排気型のストーブをご使用の時は、空気がストーブ排気口より逆流し危険な燃焼状態になる恐れがありますので、フード付きガラリなどにより、十分給気される配慮をしてください。
- ※当クックフードは、給気電動シャッター用ケーブルがついております。必要に応じてご使用ください。（具体的な接続方法については、取付説明書の「給気電動シャッター用ケーブルの接続」をご覧ください。）
- 部屋の中央で料理される場合は、捕集しきれませんので、台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。
 - 取り付け後、天井、壁などに内装用接着剤や塗料が使用される場合がありますので、本体に保護材を被せてください。

製品寸法図



付属品

